



2019年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月10日

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 廣澤 一夫

TEL 03-6240-1206

四半期報告書提出予定日 2019年4月12日
 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及び証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第2四半期の連結業績(2018年9月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	2,039	△40.2	240	△41.5	240	△36.7	228	△34.1
2018年8月期第2四半期	3,409	49.7	411	△1.9	380	6.8	346	128.4

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 224百万円 (△35.1%) 2018年8月期第2四半期 345百万円 (101.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	10.37	—
2018年8月期第2四半期	15.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	9,134	5,966	65.3
2018年8月期	8,059	5,785	71.8

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 5,966百万円 2018年8月期 5,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,762	4.9	621	22.7	592	29.4	542	32.1	24.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年4月10日)公表しました「第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年8月期2Q	22,052,426 株	2018年8月期	22,052,426 株
2019年8月期2Q	435 株	2018年8月期	435 株
2019年8月期2Q	22,051,991 株	2018年8月期2Q	22,051,991 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、輸出や生産の一部に弱さもみられましたが、雇用環境や所得環境の改善が続く中で、景気は引き続き緩やかな回復傾向が継続しました。世界経済においては、引き続き米国と中国の通商問題の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があるものの、緩やかな回復傾向が継続することが期待されています。

当社グループが属する太陽電池業界におきましては、中国市場の減速が懸念されていましたが、米国やインドを中心とした再生可能エネルギーの導入割合を設定する各種政策や、主に欧米におけるESG投資を背景としたRE100加盟企業等の取り組みが後押しとなっており、今後も世界の太陽電池設置量は前年比で成長する見込みです。現在の設置は昨年に引き続き米国や中国、インドなどが主要市場となっていますが、南米・中東・東南アジア等の新興国でもプロジェクト開発が見込まれています。なお、当社が注力する米国市場につきましては、各種政策や各州のRE100実現に向けた取り組みの効果もあり、前年比で成長する見込みです。国内では、年間の太陽電池設置量は縮小傾向にありますが、引き続きメガソーラー(大規模太陽光発電所)の建設が進んでいるほか、民間企業による自家消費発電の需要が拡大しています。一方、昨年に発生した自然災害の影響で太陽光パネルの廃棄量が想定以上に増加しており、廃棄パネルの適正なリサイクル方法や処理体制の整備に対する意識はさらに高まっています。

このような状況下、装置関連事業におきましては、概ね予定どおりの案件を売上計上したことに加え、部品販売が増加して売上高は期初の想定を上回ることとなりました。環境関連事業においては、大規模太陽光発電所の建設遅延の影響で予定していたパネル検査の一部が実施できませんでしたが、小規模案件の検査を増やしたことや、好調なパネルのリユース販売で売上高をカバーしました。そのため、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,039百万円(前年同期比1,369百万円の減収)となり、業績予想を上回る結果となりました。利益についても業績予想では赤字となる見込みでしたが、好調だった部品販売や原価低減等により、営業利益は240百万円(前年同期比170百万円の減益)、経常利益は240百万円(前年同期比139百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は228百万円(前年同期比118百万円の減益)となり、業績予想を大幅に上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①装置関連事業

装置関連事業におきましては、太陽電池製造装置や部品販売、主に自動車・ディスプレイ業界向けの自動化・省力化装置の売上計上により、売上高は1,798百万円(前年同期比1,431百万円の減収)となりました。営業利益につきましては、417百万円(前年同期比203百万円の減益)となりました。

②環境関連事業

環境関連事業におきましては、太陽光パネルのリサイクル用解体ラインを予定通り売上計上したほか、パネルのリユース・リサイクルの実績が順調に積み上がったことから、売上高は241百万円(前年同期比61百万円の増収)となりました。営業利益につきましては、69百万円(前年同期比27百万円の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,992百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,140百万円の増加となりました。これは主として、仕掛品の増加1,484百万円があった一方で、現金及び預金の減少289百万円があったことによるものであります。固定資産は4,141百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円の減少となりました。これは主として、建物及び構築物の減少75百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は、9,134百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,074百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ925百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加1,103百万円があった一方で、未払法人税等の減少82百万円、前受金の減少84百万円があったことによるものであります。固定負債は59百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円の減少となりました。これは主として、リース債務の減少36百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,167百万円となり、前連結会計年度末に比べ894百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円の増加となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益228百万円の計上があった一方で、剰余金の配当44百万円があったことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末より289百万円減少し、610百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は163百万円(前年同期は689百万円の支出)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上240百万円、減価償却費の計上97百万円、売上債権の減少129百万円、仕入債務の増加1,103百万円があった一方で、賞与引当金の減少25百万円、たな卸資産の増加1,488百万円、前受金の減少84百万円、その他の減少55百万円、法人税等の支払81百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は46百万円(前年同期は18百万円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出36百万円、その他の支出9百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は77百万円(前年同期は467百万円の収入)となりました。これは主として、リース債務の返済による支出34百万円、配当金の支払額43百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期(2018年9月1日~2019年8月31日)の通期業績予想につきましては、2019年4月10日に公表しております「第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容と同一です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	900,042	610,072
受取手形及び売掛金	1,820,665	1,689,999
商品及び製品	15,318	15,318
仕掛品	791,856	2,276,268
原材料及び貯蔵品	151,715	154,926
その他	205,445	263,011
貸倒引当金	△33,292	△17,013
流動資産合計	3,851,750	4,992,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,821,771	3,826,631
減価償却累計額	△1,397,325	△1,477,940
減損損失累計額	△8,073	△8,073
建物及び構築物 (純額)	2,416,373	2,340,618
機械及び装置	759,439	706,101
減価償却累計額	△137,700	△139,915
減損損失累計額	△562,093	△498,708
機械及び装置 (純額)	59,645	67,477
土地	1,548,050	1,548,050
リース資産	763,520	763,520
減価償却累計額	△527,377	△527,377
減損損失累計額	△236,142	△236,142
リース資産 (純額)	-	-
建設仮勘定	-	6,518
その他	280,666	281,955
減価償却累計額	△234,300	△243,283
減損損失累計額	△4,514	△4,514
その他 (純額)	41,851	34,157
有形固定資産合計	4,065,919	3,996,821
無形固定資産		
その他	19,997	16,725
無形固定資産合計	19,997	16,725
投資その他の資産		
繰延税金資産	73,182	69,947
その他	48,222	57,923
投資その他の資産合計	121,405	127,870
固定資産合計	4,207,322	4,141,417
資産合計	8,059,073	9,134,000

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,748	1,977,758
リース債務	63,414	65,336
未払法人税等	111,004	28,205
前受金	921,447	836,895
賞与引当金	49,258	23,948
受注損失引当金	-	9,925
その他	163,439	166,336
流動負債合計	2,183,313	3,108,406
固定負債		
退職給付に係る負債	10,303	15,785
リース債務	79,558	43,478
固定負債合計	89,862	59,263
負債合計	2,273,175	3,167,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,812,461	2,812,461
資本剰余金	2,734,875	2,734,875
利益剰余金	209,402	393,906
自己株式	△431	△431
株主資本合計	5,756,307	5,940,812
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,589	25,517
その他の包括利益累計額合計	29,589	25,517
純資産合計	5,785,897	5,966,330
負債純資産合計	8,059,073	9,134,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
売上高	3,409,393	2,039,405
売上原価	2,475,867	1,329,030
売上総利益	933,526	710,375
販売費及び一般管理費	521,926	469,457
営業利益	411,599	240,918
営業外収益		
受取利息	12	15
為替差益	-	3,476
業務受託料	780	780
違約金収入	1,401	-
償却債権取立益	549	-
その他	489	2,601
営業外収益合計	3,232	6,873
営業外費用		
支払利息	7,478	3,671
支払手数料	25,361	3,397
為替差損	1,152	-
その他	499	-
営業外費用合計	34,491	7,068
経常利益	380,341	240,723
特別利益		
受取補償金	28,420	-
特別利益合計	28,420	-
税金等調整前四半期純利益	408,761	240,723
法人税、住民税及び事業税	62,052	8,911
法人税等調整額	64	3,203
法人税等合計	62,117	12,115
四半期純利益	346,643	228,608
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,643	228,608

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	346,643	228,608
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△740	△4,071
その他の包括利益合計	△740	△4,071
四半期包括利益	345,903	224,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,903	224,536
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	408,761	240,723
減価償却費	98,708	97,391
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,107	△16,216
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,953	△25,310
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	21,632	9,925
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,327	5,482
受取利息及び受取配当金	△12	△15
支払利息	7,478	3,671
受取補償金	△28,420	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,200,755	129,605
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,390	△1,488,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	146,957	1,103,057
前受金の増減額 (△は減少)	△22,141	△84,138
その他	△158,809	△55,115
小計	△709,603	△79,082
利息及び配当金の受取額	12	15
利息の支払額	△7,478	△3,671
補償金の受取額	28,420	-
法人税等の支払額	△944	△81,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	△689,593	△163,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,636	△36,034
無形固定資産の取得による支出	△3,616	△1,192
その他	△136	△9,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,390	△46,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	-
リース債務の返済による支出	△32,179	△34,159
配当金の支払額	-	△43,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	467,820	△77,847
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,264	△1,348
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241,427	△289,969
現金及び現金同等物の期首残高	1,031,333	900,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	789,906	610,072

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日) (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	4,036,654	122.8
環境関連事業	224,395	126.8
合計	4,261,049	123.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	1,326,800	50.1	4,522,624	115.4
環境関連事業	245,133	269.4	387,651	786.9
合計	1,571,934	57.3	4,910,276	123.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日) (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	1,798,067	55.7
環境関連事業	241,338	133.9
合計	2,039,405	59.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。